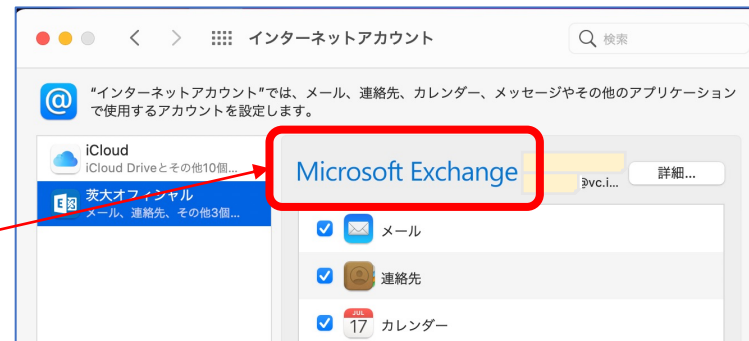




Apple Mailアプリ

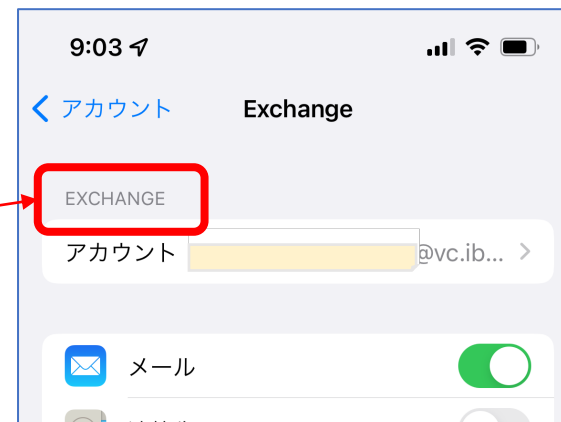
macOS設定の確認：

「システム環境設定」の「インターネットアカウント」で
オフィシャルメールアドレスに対応するアカウントの
種類が「Microsoft Exchange」になっていれば問題
ありません。



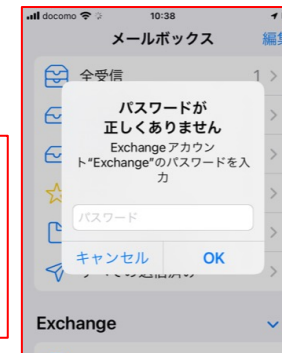
iOS, iPadOS設定の確認：

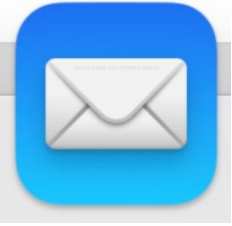
「設定」 → 「メール」 → 「アカウント」で
茨大のオフィシャルメールアドレスのものをタップ。
「EXCHANGE」になっていれば問題ありません。



これらの項目が「IMAP」「POP」などになっていた場合には、
メールアカウントを設定をやり直す必要があります。

Exchangeでも右の図のようになってしまう場合には
アカウントの再設定が必要です。→以降のページ

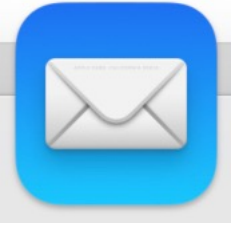




macOS Apple Mailアプリ再設定

1. Mailアプリをきちんと終了する
2. 「システム環境設定」の「インターネットアカウント」をひらく
3. 現在の茨大メールのアカウントを削除する
4. 「+」をクリックして新規アカウントの作成開始
5. 「Exchange」をクリック
6. メールアドレスとして正しいメールアドレスを入力し「サインイン」をクリック
7. Microsoftのサインインに進みます。
茨大IDを入力し、パスワード→多要素認証 と進めてください。
8. 認証が成功すると、メールが使えるようになるはずですが。

アカウント作成後、過去のメールがすぐには見えません。サーバ上で管理されているメールのキャッシュが順次作成されていきます。メールが多いと時間がかかります。Mailを起動したまましばらく放置しておいてください。キャッシュの作成中はMailの反応がすごく悪くなるようです。



iOS 標準メールアプリ再設定

1. Mailアプリをきちんと終了する
2. 「設定」から「メール」→「アカウント」に進みます
3. 現在の茨大メールのアカウントをタップ
4. 一番下の「アカウントを削除」を選択
5. アカウント一覧に戻り、「アカウントを追加」をタップ
6. 「Microsoft Exchange」をタップ
7. メールアドレスとして正しいメールアドレスを入力し、右上の「次へ」をタップ
8. Microsoftのサインインに進みます。
茨大IDを入力し、パスワード→多要素認証 と進めてください。
9. 認証が成功すると、メールが使えるようになるはずです。